

「支える」スポーツ文化の一翼を担って

鹿島アントラーズスポーツボランティア

高橋 宏さん(宮中)



スポーツボランティアとの出会い

1993年5月にJリーグが開幕し、鹿島アントラーズのホームゲームの運営をお手伝いするボランティアとして活動がスタートしました。当時、私は地元の「鹿島サッカークラブ」に所属していた関係で、鹿島サッカー協会が加盟チームからボランティアを募集したことで活動と出会うことになりました。

現在の登録者は193名で平均年齢は59歳。茨城県内からの参加に加えて、千葉県や東京、栃木県、遠くは宮城県からも参加している人たちによって活動は継続されています。活動当初から継続しているボランティアは、私も含めて15名ですね。

活動を通しての思い出

やはり、1993年Jリーグ開幕の年のファーストステージ優勝ですかね。あの時の地域の盛り上がりはすごかった。スタジアムの運営に関わっているボランティアのひとりとして、「おらがまちのチーム」のアントラーズが誇らしく思えました。そして、2002年のワールドカップでの活動ですね。外国人の観戦者も多く、サッカーは世界中の人たちに愛されているスポーツなんだという実感を持つことができました。今

回のオリンピックにもボランティアとして参加しますので、思い出がまた一つ増えることをうれしく思っています。

これまで続けてこられた理由

上手く表現できませんが、何かが面白いから、楽しいからなのでしょう。活動をやめるきっかけもなかった。活動に参加している人たちに共通していることは「アントラーズが好き」という気持ちが根底にあることだと思います。そして、私たちの活動が、スポーツを「する」、「見る」に加えて、「支える」という言葉を生んできたように、大好きなアントラーズを「支えている」というささやかな思いが「誇り」にもつながり、そのことをなんとなく仲間と共有・共感できているからでしょうか。

四半世紀の活動から見てきたこと

1993年のJリーグ開幕から2002年のFIFAワールドカップ鹿嶋市開催までの10年間の活動は、スタジアムの熱気に後押しされながら試行錯誤を繰り返し、ワールドカップの成功に向かってエネルギーに展開されていた感があります。先駆的な活動としても注目され、そのこともエネルギー源になっ

ていたと思います。

現在は、活動内容、運営方法も一定程度成熟し、登録者も200人前後で安定的な活動ができていると思います。スポーツボランティアのユニフォームは、カシマスタジアムでの試合風景の一部としてすっかり溶け込んでいるように感じますよね。

課題としては、ホームタウンの皆さん、特に若い人の参加が増えて欲しいですね。土曜日、日曜日の試合も多いので、市役所職員にもぜひ参加していただき、スポーツ文化の中にボランティア活動を根付かせていきたいと思っています。

スポーツを生かしたまちづくり

人口7万人に満たないまちで、ワールドカップとオリンピックという世界的な大会が開かれた例はないのではないでしょうか。鹿島アントラーズとカシマスタジアムが無かったら、鹿嶋市はどうなっていたんでしょうね。そう考えると、この環境を活用したまちづくりが必要だと思います。

私は宮中地区に住んでいますが、商店街の将来が心配です。鹿島神宮周辺の人通りも増加傾向にあるようですので、鹿島神宮を中心とした歴史文化と鹿島アントラーズを中心としたスポーツ文化を生かしたまちづくりに期待したいですね。

PROFILE

- たかはし ひろし
- ・鹿嶋市宮中在住
- ・鹿島アントラーズスポーツボランティア運営委員長 (2007年～2009年)
- ・元鹿嶋市消防団副団長
- ・趣味はラジコンヘリコプター



▲活動の様子-1



▲活動の様子-2



CONTENTS

- 「2/2(日)まちづくり市民大会開かれる」
- オリンピック・パラリンピックブース紹介 (大野公民館・鹿島公民館)
- しみせん 市民センのひろば ほか
- 地域レポート・まちづくり探検隊 波野地区「サロンお茶こ」での交流が楽しみ!
- INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり 「鹿島アントラーズスポーツボランティア 高橋 宏さん」





2月2日 鹿嶋市まちづくり市民大会開かれる

大会テーマ
～公民館を核にした共創のまちづくり～
**『市民の学びとまちづくり活動を推進する
 コミュニティプランの策定に向けて』**

-地域の「絆」と「資源」の見える化が重要-

大野まちづくりセンター多目的ホールを会場に、延べ380人を超える参加者を得て、第17回鹿嶋市まちづくり市民大会が開催されました。

常磐大学の砂金(いさご)先生による基調講演では、「さまざまな絆のネットワークとコミュニティ」と題して、地域には様々な絆と資源があり、それらを見る化し、将来の地域づくりに繋げていくことがコミュニティプランであることなどが話されました。その後、大会に向けた事前学習会として開かれた「まちづくり講座」の成果発表や、関係者によるパネルディスカッションが行われ、市民活動の後継者問題や、楽しい活動、地域に役立つ活動の必要性、時代に合った活動方法などについて有意義な意見交換がされました。

参加者アンケートから
 行政区の加入率が減っていますが、子どもたちにも出来ることで参加してもらうのはいかがでしょうか。ごみ拾いや道路清掃は大人じゃなくてもできると思います。
 若い頃から地域の活動に参加していると、地域への関わりについて抵抗なく、また、地域の方も〇×さんの家の子と認識され、つながりが生まれます。

大会宣言抜粋

少子高齢社会がもたらす様々な課題に対応し、共創によるまちづくりを推進する基盤となる地域コミュニティを創造していくために、次の取組みを宣言します。

- 地域を見つめ直し、地域の魅力や課題、まちづくりに生かすべき資源を再確認し、地域で取組まれている一つひとつの市民活動に目を向け、大切に、地域の未来を創造していくコミュニティプランを策定していきます。
- コミュニティプランを活用し、地域の交流、支え合い活動を実践し、「絆」を育み、地域福祉の推進と安全で安心、活力ある地域づくりを推進します。

～オリンピック・パラリンピックブース紹介～

● 大野公民館 ●

1964年、東京オリンピックが開催された当時の貴重な新聞が展示されています。そこから半世紀が経過し、いよいよ2020年7月、東京オリンピックが、鹿嶋市で開催されます。一度、1964年を振り返り、当時の感動を思い出してみたいかがでしょうか。



▲大野公民館内ブースの様子



▲1964年当時の東京オリンピックに関する新聞記事の展示

● 鹿島公民館 ●

館内には公民館利用者や鹿嶋地区の祭りに参加された地域の方々にご協力いただき、作成された缶バッジや、地区敬老会で東京五輪音頭2020を踊る様子の写真が展示されています。



▲敬老会での写真「オリンピック音頭を踊る様子」



▲鹿島公民館内ブースの様子

利用します!!
市民センのひろば



かしま灘楽習塾
 「やさしく楽しいウクレレ」講師
 小須田 征子さん(荒野)
こすだ せいこ

ウクレレを通して唄う、弾く、仲間との親睦を楽しんで活動しております。今年で7年目に入ります。



広報部のスタッフを対象とした通信の編集会議で市民センを利用しています。「楽しいカシマスタジアム」づくりを目指して日々活動しています。スタッフ募集中!!
 鹿島アントラーススポーツボランティア
 大野 修司さん(厨)
おのの しゅうじ



かしま灘楽習塾
 「道具を使って楽しい体づくり3B体操」講師
 石井 環さん(林)
いしい たまき

3B体操はボール・ベル・ベルターという独自の道具を使い、音楽に合わせて柔軟性や筋力を高める運動です。興味のある方、是非体験にいらしてください。

地域レポート



まちづくり
 探検隊 (vol.24)

波野地区

「サロンお茶こ」での
 交流が楽しい!!



▲楽しい「お茶こ」の様子

波野地区まちづくり委員会では、地区内の住民が気軽に参加でき、様々な交流ができるサロン活動を波野公民館、集落センター、お寺等を会場にそれぞれ4か所ですべて毎月行っています。

このなかで、波野公民館・清水集落センター・仲作分院集会所を会場に行われている「お茶こ」では、お茶を飲みながらのおしゃべりや、波野公民館で活動している皆さんによる笛・尺八の演奏に合わせた合唱を楽しんでいます。

1月28日には、地元の「ひよどり保育園(社会福祉法人三晶会)」の園児と高齢者との交流会が波野公民館を会場に行われました。当日はあいにくの雨模様で肌寒い日となってしまったため、参加者が少ないのではないかと心配されましたが、「前から園児たちとの交流会を楽しみにしていた」と、28人もの方が参加していました。

この日の交流会は、園児たちのソーラン踊りから始まり、ゲームや童謡などの合唱を一緒に楽しみました。園児たちのソーラン踊りは、力強く見応えがあり、参加者全員大喜びで子どもたちの姿に見入っていました。ゲームでは、自身の老いを感じながらも園児たちについて行こうと一生懸命体を動かしがんばっていました。子どもたちとの楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいますが、核家族化が進む現代社会において、地域の高齢者と子どもたちが共に過ごす時間を持つことは、子どもたちにとっても心に残る有意義な体験の機会となっているようです。



▲子どもたちによるソーラン踊り



▲ボランティアによる笛と尺八の演奏

掲示板

☆イベント予告☆

いよいよオリンピックだ!!
 鹿嶋の夏をみんなで盛り上げよう!!

2020 KASHIMA
 文化交流フェスティバル

- ◆期間 7月23日～8月6日
- ◆会場 まちづくり市民センター

であい+つどい+つながる
 7つの事業で おもてなし

- 1 ようこそ鹿嶋へ ウェルカム事業
 - ・ようこそ鹿嶋へ ひまわりロード事業
 - ※来訪者をひまわりの花で迎えよう
 - ・KASHIMAポストカードデザインコンテスト
 - ※鹿嶋の魅力を発信するポストカードのデザインを募集します
- 2 交流美術展
- 3 交流体験活動
- 4 交流ステージ発表
- 5 交流模擬店(フードスポット)
- 6 情報発信クラブ
 - イベント情報や会場の雰囲気SNSで発信!
- 7 交流 絆づくり事業
 - ・夏まつり
 - ・ポッチャ大会